

東原中学校の「マイルーム」

人は、生まれてからその一生を終えるまで、一人ひとり異なる人生を歩みます。

生まれたばかりの赤ちゃんが並んで寝ている姿を想像してみてください。見た目だけでは、誰が誰なのか区別が付きません。みな同じようにベッドの上で眠り、時には大きな声で泣く姿からは、まだはっきりとした個性は感じられないでしょう。しかし、こうした時期を過ぎ、自分で歩き、言葉をお話できるようになると、一人ひとりの違い、いわゆる「個性」が次第に表れてきます。そしてこの個性は、義務教育に入ると「学び」にも大きく影響していきます。

例えば、お話することが得意な子は「国語」に力を発揮するかもしれませんが、手先が器用な子は、ものづくりだけでなく、文字を書くことも得意な場合があります。一方で、お話することが苦手な子は国語に難しさを感じたり、手先が不器用な子は文字を書くことに強い負担を感じたりすることもあります。学習面での苦手さがはっきりしてくると、学校に通うことや教室に入ること自体をつらいと感じるようになることもあります。特に中学生になると、こうした経験が自尊心にも影響を与えることがあります。

このような一人ひとりの個性を理解し、強みを生かしながら成長を支えていくために、本校では必要に応じて「学年（学齢）」や「教科」という枠にとらわれず、すべての生徒が可能な限り自分に合った学びを積み重ねられるよう、「マイルーム」を開設しています。「マイルーム」は、必要とする生徒であれば誰でも利用することができます。利用を希望される生徒や保護者の皆様は、本リーフレットの内容をよくお読みいただき、担任までご質問やご相談をお寄せください。

【開室場所・時間等】

場所：第三校舎 1 階

時間等：授業日は原則 9 時より開室しています。



【担当教員等の役割について】

○担任、学年教員等

マイルームを使う時間ややることなどを本人と確認します。必要に応じて、学習の課題を提供したり、可能な範囲で学習のサポートを行ったりします。

○学習支援教員・地域ボランティア

マイルームで一緒に過ごします。マイルームでの時間が生徒にとって安心できる時間になるよう、生徒が必要とするサポートを行います。

学校には行かなきゃって思ってるけど・・・授業は進んじ
ゃってるし、今さら勉強についていけない・・・高校には
行きたいけど、これからどうしたらいいのかわからな
い。ずっと学校行ってないから、朝も起きられるかわか
らないし、6時間授業なんて絶対無理かも。友達に会う
のも不安だな・・・

Aさん



【利用まで】※ Aさんの例で考えてみます。

- ① 「マイルーム」の利用希望を先生に伝えます。
- ② 後日担任から担当の先生や校長先生との面接の日程調整の連絡をします。
- ③ 面接では「マイルーム」でやりたいこと、不安なことなど教えてください。
- ④ 面接終了後「マイルーム」を利用することができます。
- ⑤ 自分のタイミングで利用を開始してください。

★ Aさんへのアドバイス ★

利用を決めたら毎日来なければならないと考えないでください。「マイルーム」で何を
するかはAさんが決めますが、決められなければ先生たちが一緒に考えるので安心し
てください。登校時刻や下校時刻は前日にあらかじめ決めますが、当日に相談の上、
変更できます。やれることから始めるといった気持ちで学校に来てください。

【一日の流れ】※ Aさんの例で考えてみます。

- ① 登校したら「マイルーム」に行きます。
- ② 「My schedule★My memory」に一日の予定を記入します。その時、自分の「やりたい」「やってみたい」気持ちを大切にしてください。何をやったらよいかわからない人は、「マイルーム」の先生と相談しながら決めましょう。
- ③ できるだけ予定通りに過ごしてみましょう。変更もできますが、その時は先生と相談してください。
- ④ 自分が決めた下校時刻になったら帰ります。下校前には一日の振り返りを記入し、次回登校日と登校時刻を先生に伝えて帰ってください。
- ⑤ お疲れさまでした。気を付けて帰りましょう



次の授業、「数学」だ・・・小学校の時から苦手で、分数とか小数とかの計算も間違えちゃう。国語も苦手だし、50分の授業がすごく長く感じるし、わからないで終わっちゃうことが多いんだ。クラスの友達とどんどん差が開いてる感じがする。学校が実技教科だけならいいのに・・・本当は学校休みたい。

Bさん



【利用まで】※ Bさんの例で考えてみます。

- ① 「マイルーム」の利用希望を先生に伝えます。
- ② 後日担任から担当の先生や校長先生との面接の日程調整の連絡をします。
- ③ 面接では「マイルーム」を使って何をしたいか、どの教科を学びたいかなどを確認します。
- ④ 面接終了後「マイルーム」を利用することができます。
- ⑤ 自分のタイミングで利用を開始してください。

★ Bさんへのアドバイス ★

教科によって、その日にクラスで学んだほうが良い時もあります。教科担当の先生とはその都度内容を確認しましょう。また、何がわからないのか、何を勉強すれば理解が深まるのかなどは、自分一人で考えていてもわからないことがあります。教科担当の先生に相談しながら、学習を進めてください。

学校生活に疲れてしまった時には、一休みすることも大切です。仲間とおしゃべりをしたり、自分が好きな創作活動や読書などを楽しんだりしながらリラックスして過ごす時間も「マイルーム」を活用してください。



【一日の流れ】※ Bさんの例で考えてみます。

- ① 登校したら「My schedule★My memory」に一日の予定を記入し、担任の先生に提出します。予定を立てる時には、教科担当の先生と内容を確認しましょう。
- ② 「マイルーム」を使う時間になったら、課題を持って「マイルーム」に行きます。
- ③ 「マイルーム」では、自分のペースで学ぶ仲間がいます。互いに相手を尊重しましょう。学習をすすめていてわからないところがあったら、「マイルーム」の先生と一緒に考えてもらいましょう。
- ④ 「マイルーム」の時間が終わったら、教室に戻りましょう。自分で決めた予定はなるべく守りますが、気持ちが落ち着かないなどの理由で「マイルーム」の時間を延ばしたい場合には、必ず「マイルーム」の先生に相談しましょう。



みんなの約束

- ★ 「マイルーム」は誰でも必要な時に利用できます。
- ★ 「マイルーム」に関わる大人は子供たちの味方です。
- ★ 「マイルーム」に集う仲間を尊重し、大切にします。
- ★ 困ったことがあったら自分一人で悩まず、周りの人たちに相談して一緒に考えます。
- ★ 東原中学校の「マイルーム」をより良くするためのアイデアをみんなで考えます。

校長先生より



「マイルーム」が、子供たちの学びの充実だけでなく、心の安定につながり、子供たち自身が自分の成長を感じられる場になることを願っています。

この取り組みには、子供たちに関わる保護者や地域の皆様のご理解やご協力が必要です。私たちと一緒に子供たちの未来を支える応援団として、皆様のお力をお貸しください。

また、お子様に関わるご心配ごと、お悩みごとなどがございましたら、いつでも学校にご連絡ください。必要に応じて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど、心理や福祉の知識や経験をもった専門家へのご相談もできます。なお、今年度からは火曜日と金曜日の午後に「不登校巡回教員」が本校に勤務します。大人たちのたくさんの目と手と心で、子供たちを支えます。

《連絡先》 杉並区立東原中学校
〒167-0022 杉並区下井草1-28-5
TEL 03(3390)0148

《担当》 副校長 沼田 茂雄
主任教諭 齋藤 菜美（特別支援教育・教育相談コーディネーター）
主任養護教諭 樋下田 智美（特別支援教育・教育相談コーディネーター）

※ 「マイルーム」の利用についてのご相談等は担任以外の上記担当者でも承ります。
まずは、ご一報ください。